

# 1 今年度の地域防災支援業務の推進状況について（高知県での取組）

## 平時

- ・市町村との「顔の見える関係」深化
- ・気象防災ワークショップの開催
- ・地域防災計画等への助言
- ・市町村の過去災害に関する解説資料作成
- ・市町村の職員研修への講師派遣

## 緊急時

- ・防災メール等による注意喚起
- ・台風説明会等による注意警戒の呼びかけ
- ・ホットラインによる助言
- ・気象庁防災対応支援チーム（JETT）派遣

## 災害後

- ・自治体等と共同で「振り返り」を実施

## 「あなたの町の予報官」による地域防災支援業務

日常的に担当者との緊密な連携を図り、緊急時には自治体の防災対応を積極的にサポート。



**担当総括**  
地域防災官

**県庁対応**  
リーダー 防災気象官

**中部チーム**  
リーダー 地域防災官

**東部チーム**  
リスクコミュニケーション推進官

**西部チーム**  
リーダー 調査官

## 市町村との「顔の見える関係」深化

オンラインによる市町村訪問

- ・出水期前に気象台から発表する防災気象情報の再確認
- ・防災メール、ホットラインの紹介



【市町村訪問（オンライン）】

## 「振り返り」の業務改善への活用

災害時等の対応を振り返り、平時・緊急時の業務へフィードバック

自治体の防災対応や防災気象情報の利活用状況を把握するとともに、気象台への要望や意見交換等を実施。



【室戸市との振り返り】

## ホットライン等の実施、JETT派遣

- ・令和6年台風第10号  
台風説明会の開催（2回）  
県災対本部会議で解説（右図）  
市町村へのホットラインを実施
- ・令和6年4月の豊後水道での地震  
宿毛市へJETT派遣  
【県災害対策本部会議へ派遣】
- ・令和6年8月の南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）  
解説資料に関する説明を実施  
県災害対策本部会議で解説を実施  
市町村へホットラインを実施



【県災害対策本部会議へ派遣】

- ・令和5年6月の大雨  
土佐清水市、四万十市他3市町
- ・令和5年8月の台風第6号  
5町村
- ・令和6年台風第10号  
全市町村へオンラインアンケート
- ・令和6年台風第10号及び南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）  
黒潮町、室戸市、宿毛市、津野町

## 2 新しい防災気象情報 (R8出水期から運用開始予定)

- 防災気象情報（大雨浸水、河川氾濫、土砂災害、高潮）を5段階の警戒レベルにあわせて発表
- 対象災害ごとの情報として整理するとともに**レベル4相当の情報として危険警報を新設**
- 情報名称そのものにレベルの数字を付けて発表（例：レベル4大雨危険警報等）
- 情報と対応する防災行動との関係が明確に。（レベルの数字で、とるべき行動が分かる！）

### 新しい防災気象情報の情報体系とその名称

	<b>大雨浸水</b> 低地の浸水や 小さな河川の氾濫	<b>河川氾濫</b> 1級河川などの 大きな河川の氾濫	<b>土砂災害</b> 急傾斜地のがけ崩れや 土石流	<b>高潮</b> 海水面の上昇や 高波による浸水	<b>住民が 取るべき行動</b>
<b>5</b>	レベル5 大雨特別警報	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報	命の危険 直ちに安全確保！
<b>4</b>	レベル4 大雨危険警報	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報	危険な場所から全員避難
<b>3</b>	レベル3 大雨警報	レベル3 氾濫警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報	避難に時間を要する人は早めに避難、避難の準備など
<b>2</b>	レベル2 大雨注意報	レベル2 氾濫注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報	避難行動を確認（避難場所や避難ルート、避難のタイミングなど）
<b>1</b>	<b>早期注意情報</b>				災害への心構えを高める

※情報名称の最終決定は、法制度などの関係も踏まえ、気象庁・国土交通省が行う